

# 悲

△ 悲 漢字

## 御遠忌テーマ

### 親鸞さま、なぜ、お念仏なの？

— 出会おう、語ろう、今ここで! —



#### 切ない思い

遠い沖縄から来ました。

私の国籍は大韓民国です。ルーツは釜山に近い片田舎です。10年前かな、娘が行こうと誘って連れて、行きました。本当は行きたくなかったんです。母の話すふるさとはあまりに美しかったから、行つてがっかりするのがいやだったんです。でも、母が語ってくれた風景が残っていました。こんな美しい故郷を残して、玄界灘を渡って日本に来て、私が生まれたんだなあと思うと、とても切ない思いがしました。感動とは別のものですね。切なかったですね。いじめられてきたからね、在日は。

#### 生まれたこと自体が飲む

「真宗の教えに出会って何が良かったですか」と聞かれたらね、即答します。「自殺しませんでした。自ら自分の命を絶ちません」。本願寺の堀の石垣に「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」と書かれた横断幕があります。生まれたこと自体が喜びのほうなんです。何もなくても本当に生きていくか、そのことが大切なことだと思う、と若い人たちに

に言います。

でも、思春期のころは、「自分に生きる意味があるのか」「この社会は私が生きるに値する社会か」と。生意気でした。だから息子や娘が思春期を迎えた時、私の反抗期に比べればまだまだ柔らかいと思った。息子が思春期の頃、「同じ空気を吸うのも汚らわしい。おれは家を出て行く」と言っただけです。私も「上等だ、出て行き。でも、

## 解放への祈り

ユ  
ン  
ジ  
ヤ  
漢子先生

(大谷派教師)

2019年6月8日

りません。自分ではどうにもならないことですから。「今日一日を誠実に生きて、まっさらな明日を生きよう」、そう思うています。それが生まれた意義と生きる喜びではないですか。

#### 浄土真宗との出遇い

私は播州平野という、昔は米で有名なところで、今は宅地に変わってしまったが、そこで焼き肉屋を27年営みました。27

さつき食べたおにぎり分だけは生きるとしてよ」とも言っただけです。ちゃんと帰ってきました。私は、「お待ち受け聞法会」

のこの場所が、この時間が、親鸞聖人が私たちにどんなことを伝えようとしたのか、それに私たちがどう応えて生きているのか、それについて少しでも一緒に考えることができたなら、本当に来て良かったなと思う。帰りの飛行機が落ちても悔いはあ

年間キムチの値段を変えたことがなかった。どんなに白菜が高いつきでも一皿100円。お店は先生の教室でした。

子どもが通っている学校の先生が「日本の植民地政策の歴史も(在日)の歴史も分かりませ

ん。子どもたちにルーツを語って下さい」と、学校に招いてくれました。その後、教育委員会がそれをキャッチしたんですね。その後ですね、大谷派の僧

侶と出遇ったのは。集会の後の打上会をうちのお店でしてくれました。

ご縁があつて訪ねていったのが玉光順正さんが住職をしていたお寺でした。玉光さんが、私に「バラバラで、なお、一緒」という言葉を教えて下さった。

「みんな同じになるのではなくて、一人一人があなた自身を生きていける。『バラバラで、なお、一緒』、そういう世界観がある。これが浄土真宗の世界観です」とおっしゃった。その一言で私の宗教観がガラガラと崩れ落ちる思いがした。「宗教は心の問題ではありません。生き方の問題です。あなたがどう生きるかということをお教えるもの、感じさせるもの、そういうものが宗教です」と教えて下さった。感動しました。「漢子、そのまま生きていけ」と言われた気がした。

#### 私たちは親鸞聖人の未来

藤元正樹先生の言葉に感動した日のことを忘れません。「宿業の自覚は大いなる自身の充実と。『ああ、そうだったのか』と。劣等感も優越感も砕く、歴史の中の私という存在であるこ

とを教えた言葉です。

人類誕生の時から人間の中にある、美しいものを見たら感動する、美しい月を見たら自然に手を合わす、そういうものに気づかせてくれるものが宗教ではないでしょうか。すでに私たちに有るもの、願われているもの、そういうものに気づいたら、仏教は明るい世界観、生きる力になりました。

私はね、いろんな形で親鸞聖人に出遇った喜びを伝えたい。「親鸞聖人の言葉を聞いて、私は蘇生しました」と。人間はね過去に戻って生き直すことは出来ない。でもね、生き方を変えることはできる。梶原敬一さんは「親鸞が言えなかったことを、今生きている私たちが言う」と教えてくれたことがあります。私たちは親鸞聖人の未来を生きる門徒です。

### なぜ、お念仏なの？

「なぜお念仏なの」というと、お念仏しかないからでしょう。念仏しか、もう、ない。念仏とはなんですか？ 難しいことを考えんていい。仏を念じること。なにも難しいことはない。

私はお念仏言うのが嫌いだった。「南無阿弥陀仏」を長いこと言えなかった。だまされているようで。それが自然と「南無阿弥陀仏」と言えるようになった。

そういう人に沖繩で出遇ったんです。杉田久美子さんという生粋のウチナンチュウ。その人と一緒に歩いてみると、「南無阿弥陀仏」と言ってるんです。それで私も一緒に「南無阿弥陀仏」と言ったらね、普通に言える人になった。真宗の言葉に出遇ってから二十年ぐらいかかったけどね。

### 親鸞聖人に申し訳ない

親鸞門徒が親鸞聖人の御遠忌を迎えるに当たって何が必要か。今、親鸞聖人が生きていたら、私たちの精神の中に生きていたから、私はどのような生き方をすべきか。親鸞聖人が残された言葉に自分はどう応えたら良いか。

聞き開いていくしかないんじゃないですか。そうでなかったら、何年経っても世の中なんて変わらないし、もっと悪くなっている気がする。親鸞聖人がこんな時代を望んで『教行信証』を書かれたらどうか。『和讃』を

残されたのだろうか。親鸞聖人の未来を生きて一人の人間として、親鸞聖人に申し訳ないなあと思っています。

私は親鸞聖人の門徒として、一人の仏教徒として、誠実に生きていくか。人が人を殺してはいけない。お釈迦様の願い、遺言ですからね。問われているのは自分だけ。そう思って生きています。

### 平和は築いていくもの

戦争で豊かになっていく国と手を切ったらいいのに、と思う。戦争を放棄したらいいのにね。平和は築いていくものです。この74年間戦争をしなかった国ですと自慢している。天皇もそう言いました。本当にそうですか。死者が見えないだけだ、と思う。他国の戦争に加担して、平和を語っている。悲しい無自覚な平和です。

沖繩には基地がね、全国の人口の比率からしても多い70%が沖繩にある。沖繩が受け入れた基地は一つも無いんですよ。辺野古は沖繩が初めて差し出す基地になるんです。埋め立ての土砂を運ぶダンプ

カーの運転手に、おばあちゃんがか切々と訴える。「あなたにも子供がいるでしょう。埋め立ての土砂を運ぶこんな仕事やめて、ほかの仕事をして」と言うのと、涙ぐむ運転手さんもいる。反対に「お前らのせいで工事が延び、税金の無駄遣いしとるんだぞ」と怒鳴る人もいる。

本末転倒なんです。基地を作るから、市民の正当な声として反対しているんです。一部の報道は嘘で固められている。NHKのアナウンサーも必ず言う、「普天間の代替基地として辺野古の建設」と。代替基地じゃない。新基地を建設するための埋め立てです。「普天間の人が楽になるんなら私たちも引き受けよう」と言ってるハンコを押した、と聞きました。それと、国が決めたことに抗しても勝てないという諦めによるものです。

### 沈黙を破って声をあげよう

「国家権力に負ける」とって、みんな言うんですよ。親鸞聖人もすぐご苦勞されました。千年経ってもなんにも変わってない。それでも人類の歴史が続いてきた。それは、本当かどうか

問い続けてきた人がいるからでしょう。勝つか負けるかではなくて、本当にすべきことかどうか、そのことを聞いて声を上げよう。沈黙を破って声をあげよう。今すべきことは何か。そう思っています。

### 聞き書き担当者・感想

兪 漢子先生、名前から在日の方だと想像できますよね。そして平和活動や人権問題にも熱心な方だという予備知識がありました。その兪先生がどういったのかとても関心がありました。解答は、小っちゃなお寺で聞いた親鸞聖人の言葉が出会いのきっかけだと。そしてその聖人の民族を超えるような教えに出会ったことだと話していました。講演の後の交流会でもっと話を聞きたかったんですが、都合があつて参加出来なかったのが、残念です。(渡辺重昭)

### 第18回 (8月17日)

「真宗遇いがたし」

荒木半次先生

(京都市城陽作業所・支援員)